

観 点	発 行 者	17・教出	27・教芸
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ 目標の達成を目指す歌唱の学習活動		
	・ 斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式の関わりを理解したり、曲想を味わいながら合わせて歌う技能を身に付けたりする活動（第1学年） ・ 斉唱から混声四部合唱までについて、歌詞の内容を味わい、曲の構成を理解したり、豊かなハーモニーで歌う技能を身に付けたりする活動（第2・3学年）		・ 斉唱から混声三部合唱までについて、歌詞と曲の構成との関係を理解したり、音色や強弱を工夫して歌う技能を身に付けたりする活動（第1学年） ・ 斉唱から混声四部合唱までについて、声部の関わり合いを理解したり、曲想の変化やパートの重なりを生かして歌う技能を身に付けたりする活動（第2・3学年）
	○ 目標の達成を目指す創作の学習活動		
	・ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して、音楽をつくる技能を身に付けたりする活動（第1学年） ・ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある音楽をつくる技能を身に付けたりする活動（第2・3学年）		・ 和音の動きに合わせて音のつながり方を理解したり、表したい場面を選び、構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりする活動（第1学年） ・ リズムの重なり方による特徴を理解したり、和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくる技能を身に付けたりする活動（第2・3学年）
	○ 目標の達成を目指す鑑賞の学習活動		
	・ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、用いられる音階や曲の構成などの特徴を理解したり、日本とアジアの声による表現について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動（第1学年） ・ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、曲の特徴と曲全体の関わりを理解したり、他の芸術と関係する音楽の役割や効果について考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動（第2・3学年）		・ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、映像の中で音楽が果たす役割を理解したり、音楽の特徴と歌詞が表す情景や心情について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動（第1学年） ・ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声による表現の特徴を理解したり、作曲者が記した標題や解説などから作品にこめられた思いについて考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動（第2・3学年）
	○ 【共通事項】について		
	・ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」を基に、それぞれの曲の特徴についてまとめたり、音楽を形づくる要素の働きに注目して、気が付いたことや感じ取ったことを話し合ったりする活動（第1学年） ・ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」を基に、テクスチャ（音の重なり方）の変化に注意して歌ったり、舞台芸術の表現から、それぞれの音楽の特徴をまとめ、共通点や相違点について紹介したりする活動（第2・3学年）		・ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」を基に、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、自分たちの表現を工夫したりする活動（第1学年） ・ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」を基に、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、音色や旋律に着目して、伝統音楽を聞き比べて特徴をまとめたりする活動（第2・3学年）
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動		

	・曲の特徴についてまとめたり，曲の山場（クライマックス）の部分を確認し，その部分の特徴をまとめたりする活動（第1学年） ・ピアノ伴奏が変化する効果について，感じ取ったことをまとめたり，フレーズや形式を理解して，ブレスの取り方を工夫して歌ったりする活動（第2・3学年）	・聴き取ったことと感じ取ったことをまとめたり，演奏を聴いて確認したことをもとに気付いたことや考えたことをまとめたりする活動（第1学年） ・言葉のまとまりや抑揚を意識しながら，歌詞を音読したり，声の音色や速度，リズムの変化を感じ取り，表現を工夫して歌ったりする活動（第2・3学年）
内容の構成・排列，分量等	○ 系統的・発展的に学習できるような工夫	
	・「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において，言葉の自然なリズムや抑揚を聴き取り，反復や重ね方による全体の構成を考えながら創作できるようにするなど，系統的・発展的に学習できる工夫（第1学年） ・「曲想を感じ取り，曲の特徴を生かして合わせて歌おう」において，フレーズや速度の変化を生かし，合唱で表現するときの指揮の仕方について音楽の特徴と合わせて考えるなど，系統的・発展的に学習できる工夫（第2・3学年）	・「リズムチャレンジ」において，リズムを選び，そのリズムを繰り返したり，リズムを変化させたりして，リズムアンサンブルを創作できるようにするなど，系統的・発展的に学習できる工夫（第1学年） ・「伝統音楽の魅力を見付けよう」において，音楽を聴いて気付いたことをまとめ，地域に伝わる祭りや芸能に取り組む意義を考えるなど，系統的・発展的に学習できる工夫（第2・3学年）
	○ 内容の分量	
	・第1学年 92 ページ（前回とほぼ同様） ・第2・3学年（上） 92 ページ（前回とほぼ同様） ・第2・3学年（下） 92 ページ（前回とほぼ同様）	・第1学年 98 ページ（前回とほぼ同様） ・第2・3学年（上） 98 ページ（前回とほぼ同様） ・第2・3学年（下） 98 ページ（前回とほぼ同様）
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫	
	・ユニークな活動を展開するピアニストから中学生に向けたメッセージや，人と社会とのつながりを生み出す取組を掲載	・各界で活躍する方の中学生に向けたメッセージや，様々な角度から音楽を捉え，より幅広い価値観をもつことができる「音楽ってなんだろう？」を掲載
	○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫	
	・アイコンやマーク等で，学習の見通しや活動例を示すほか，楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載	・どのような曲なのか簡潔に示す楽曲の紹介文を示すほか，「問いかけ」による考えたいポイントを掲載
指導上の配慮等	○ 使用上の便宜	
	・ユニバーサルフォントを使用 ・カラーユニバーサルデザインに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルフォントを使用 ・色覚特性への配慮 ・二次元コードを掲載
	○ 地域素材	
	・北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」「チュンカワカムイラン」，本市や北海道に関する「時計台の鐘」「雪の降る街を」などが取り扱われている ・旭川市大雪クリスタルホール内に設置している詩碑や札幌コンサートホール Kitara のパイプオルガンなどの写真が取り扱われている	・北海道民謡の「ソーラン節」や「江差追分」，郷土の芸能として「アイヌ古式舞踊」が取り扱われている ・北海道のテレビ局で制作された番組のエンディングテーマ曲が取り扱われている
指導上の配慮等	○ ICT の活用	

	・自分が推す曲をプレゼンテーションする活動を設定するなどの工夫がなされている ・ウェブサイトでは，歌詞の表す情景に合う映像や範唱の視聴，指揮の仕方や解説，ワークシートを掲載するなどの工夫がなされている	・興味のある音楽についてインターネットで詳しく調べる活動を設定するなどの工夫がなされている ・ウェブサイトでは，歌唱教材のピアノ伴奏と合唱曲のパートごとの演奏音源，鑑賞曲の譜例再生，画面上で旋律をつくり再生することができる創作ツールなどの工夫がなされている
	○ 小中連携した指導	
本市生徒の学習の状況等	・音楽を形づくっている要素を手掛かりに，「Active!」の欄に気付きや考えを記述し，音楽的な見方・考え方を働かせて学習を深められるよう配慮がなされている ・小学校の共通教材「ふるさと」が，同声二部合唱，混声三部合唱，混声四部合唱と系統的に掲載されている	・「My Melody」「Let's Create!」で創作の手順が分かりやすく示され，小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら段階的に取り組めるよう配慮がなされている ・小学校の共通教材「越天楽今様」と関連する雅楽「平調 越天楽」が，第1学年の鑑賞曲として掲載されている
	○ 音楽の特徴を聴き取り，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力の育成	
	・曲の情景を感じ取りイメージを広げることのできる写真や映像が掲載されているとともに，題材内で比較して学習を深めることができるよう歌唱教材の設定の工夫がなされている ・「Active!」のコーナーで曲の特徴をまとめたり曲の山場を考えたりできるようにし，思いや意図をもつ過程を重視した配慮がなされている	・キャラクターの吹き出しで表現方法のアドバイスや思考のヒントとなるような内容が記載され，曲にふさわしい表現ができるよう工夫がなされている ・「深めよう!」のアイコンを設け，ペアやグループで歌い試したり，表現の工夫を聴き合ってアドバイスしたりする活動が設定され，考えを深め広げる過程を重視した配慮がなされている
	○ 表したいイメージを膨らませながら，即興的に音を出したり音のつながり方を試したりして表現する力の育成	
	・「音のスケッチ」で創作の活動の手順が示されており，つくったリズムや音楽を書き込めるワークシートが設定されるなどの工夫がなされている ・言葉のつなげ方や重ね方，全体のまとまりを意識して音楽をつくる活動が設定されるなどの工夫がなされている	・創作過程の手順が丁寧に示されており，教科書と同じ体裁のデジタルコンテンツが設定されるなどの工夫がなされている ・イメージを基につくった旋律や音楽を中間発表として聴き合う活動が設定されるなどの工夫がなされている
	○ 鑑賞において，想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，自己のイメージや感情を伝え合い，互いの感じ方や考え方に共感する力の育成	
	・「表現の仕方を調べてみよう」で，複数の曲を比較して整理できるようワークシートの工夫がなされている ・「話し合おう」で，自分にとって聴きどころだと思う場面や自分なりの考えなどを整理し，紹介する活動を設定するなどの配慮がなされている	・複数の曲の中から個々の興味・関心に応じたものを選択して聴くことができるよう活動の工夫がなされている ・「学びのコンパス」で，聴き取ったことや感じ取ったことをまとめたり，友達と意見を交換したりできるよう配慮がなされている
その他	○ 著作権への配慮	
	・「コンピュータと音楽」で音楽に関する著作権やインターネット上の音楽利用について扱われている	・「ルールを守って音楽を楽しもう!」で音楽に関する著作権や著作権隣接権について扱われている